

保護者 様

今治市立伯方中学校 渡邊 伸

学校評価の集計結果について

雨水の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に、ご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

二学期末に実施した学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。この評価結果を基に、職員会議・学校関係者評価委員会を実施し、より良い学校づくりのために検討を行いました。生徒がより良い学校生活を送れるよう学校運営の改善と発展を目指していこうと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

1 学校の教育目標の達成状況（概要）

(1) 重点目標と具現策に関する評価結果

A：そう思う B：まあまあ思う C：あまり思わない D：思わない					
----------------------------------	--	--	--	--	--

ア 豊かな心の育成と真の仲間づくりを目指す教育活動の推進

	評価項目	A	B	C	D
生徒	互いを大切にする仲間意識や 人権意識の育成	63%	33%	3%	1%
保護者		51%	44%	5%	0%
教職員		56%	44%	0%	0%

イ 確かな学力を身に付けさせる主体的な学習活動の推進

	評価項目	A	B	C	D
生徒	分かりやすい授業の実現	40%	56%	4%	0%
保護者		23%	57%	16%	3%
教職員		56%	44%	0%	0%

ウ 心身の健康を保障する教育活動の推進

	評価項目	A	B	C	D
生徒	いじめ問題や生徒の悩みに対す る寄り添った対応	53%	37%	9%	1%
保護者		36%	49%	10%	5%
教職員		63%	38%	0%	0%

エ 郷土を愛する心を育てる教育活動の推進

	評価項目	A	B	C	D
生徒	将来の「生き方」に対する意 識の高まり	56%	40%	3%	1%
保護者		31%	48%	20%	2%
教職員		44%	56%	0%	0%

(2) 主な取組の課題と改善

ア 豊かな心の育成と真の仲間づくりを目指す教育活動の推進

全教育活動の中で行う人権・同和教育に加え、運動会や文化祭などの学校行事や、生徒会本部役員が中心となり実施したグループマッチ等の取組により、学びを実践に生かす機会がたくさんあり、生徒の肯定的な評価につながったと考えられる。

イ 確かな学力を身に付けさせる主体的な学習活動の推進

教職員と保護者の評価に大きく差があり、より分かりやすい授業へ改善していく必要性が明らかとなった。今後、校内研修等を実施し、教職員の授業力の向上を図っていく。また、家庭学習習慣の定着を目指した取組について、生徒・保護者の肯定的な評価は依然として低いことが課題である。

ウ 心身の健康を保障する教育活動の推進

生活実態調査の実施や日記指導、日頃からの声掛け等を通して、いじめ問題や生徒の悩みに寄り添う指導を行っているが、生徒一人一人への十分な対応が行き届いていない。

エ 郷土を愛する心を育てる教育活動の推進

総合的な学習の時間に学習した内容を文化祭で発表した。今後、地域行事や地域ボランティア活動に参加し、学びを更に深める取組を地域と連携して行っていく必要がある。

(3) 学校評価アンケートの結果について

二学期末に生徒、保護者、教職員を対象に実施した「学校評価アンケート」の結果が、次の表である。

令和6年度 学校評価アンケート

□ A…よくあてはまる(4) ■ B…ややあてはまる(3) ▨ C…あまりあてはまらない(2) □ D…あまりあてはまらない(1)

評価項目		0%20%40%60%80%100%					平均	R5	R4	R3
1	生徒は、運動会や文化祭などの学校行事や部活動などに、意欲的に参加し、積極的に活動していると思いますか。	生徒								

2 学校関係者評価委員会の意見

(1) 学校評価アンケートの内容について

- 不登校生徒・いじめについて、生徒に対して具体的にどのように寄り添って対応しているのか。「心身の健康を保障する教育活動の推進」について、否定的な考えを持っている生徒や保護者も一定数いる。小さな悩みやトラブル等もあると思うが、生徒一人一人と丁寧に向き合ってほしい。
- 職場体験学習や吹奏楽部のコンサートなど、地域で活躍する中学生がたくさんいる。長期休業中に、伯方児童館を利用する中学生も多い。活動する生徒の様子を中学校の先生方にも見に来ていただきたい。
- 社会福祉協議会が主催する社協まつりにたくさんの生徒に参加していただいた。来年度も、ぜひお願いしたい。文化祭の人権啓発劇は、認知症を扱う内容であった。地域包括支援センターには認知症サポーター養成講座があるので、今後、福祉について勉強する機会があれば、協力させていただきたい。
- 防災ウォークボランティアに、中学校から数名参加していただいた。来年度も、より多くの生徒に参加していただきたい。
- 地域で行っている防災活動に、もっと積極的に参加してほしい。

(2) 学力向上について

- 伯方小学校でも、自主学習ノートを活用した取組を行っている。義務教育九年間を見据え、小中が連携した取組を行うことで、より効果が高まるのではないかな。
- 学力の低下は、読解力の低下が原因の一つである。読書の時間を有意義なものにするとともに、情操教育にも力を注いでいただきたい。

(3) その他

- 今年度の運動会では、たくさんの生徒が活躍する場面が見られた。先生方の指導の成果が感じられた。
- 保護者が教育に関わったり、勉強したりする機会を作ってほしい。また、祖父母も参加することで、家族の絆も深まるのではないかなと思う。

3 生徒・保護者の意見（一部抜粋）に対する回答とお願い

- 図書室を自習室として開放してほしい。
 - ⇒ テスト期間中、希望者による学習相談を実施しています。相談する内容は無いが、自習をする環境が必要な生徒に対しては、空いている教室を自習室として活用することを来年度の検討事項としています。
- 授業についていけない子どものサポートをもう少ししていただきたい。
 - ⇒ 学力の向上に向けて、生徒一人一人に応じた声掛けや基礎・基本を定着させる取組に励みます。スタディサプリでは、学習のレベルに応じた講座や課題が配信されています。家庭学習等でも、有効にご活用ください。学校でも、小テストを実施したり、学習相談を実施したりする取組を継続して行います。
- 進路選択について、早くから子どもたちが自身が興味を持ったり、調べたりできるような取組をしてほしい。高校について知らなさすぎると思う。
 - ⇒ 各学年に応じた学習内容で進路指導を行っていますが、指導計画の見直しを図り、生徒がより進路に対する意識を高められるようにしていきます。
- 生徒の悩みに寄り添い、全ての生徒が安心して登校できる学校にしてほしい。
 - ⇒ 生活実態調査等で、生徒の悩みを把握することに努めていますが、生徒が抱えている悩みに気付くにくいこともあります。ご家庭での様子や、小さな変化など、気付いたことがありましたら、学校へご相談ください。学校では、スクールカウンセラーの先生と面談をすることも可能です。教職員も、愛媛県から講師の先生をお招きして、生徒の指導や関わり方に関する職員研修を実施しました。今後も、研修に努めて参ります。

いただいたご意見やご指摘を真摯に受け止め、来年度の重点目標や具現策、取組に反映することで、更に信頼される魅力ある学校づくりに努めていきます。ご協力、ありがとうございました。